京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西署西小門通（電話六六三） 京城新報社

雜錄

漢城より

十月十日　熊浦漫人

▲京城に於ける内地商人の重なるものは、今季節の變り時とて、商品仕入れの爲め既に内地に赴きたるもあり、將に是より出立せんとする者も多しと聞く、吾等は是等の人々に對し聊か注文あり、聽くときかざるとは本人の勝手ながら、聽かざれば自巳を益せず、顧客に損をかけること明かなり、故に聽いて欲しきものなり。

▲第一は、商品仕入れの爲めに京阪に上ることを觀光の旅行と同一視せざることなり、所謂命の洗濯を爲す爲めの旅行と心得べからざることなり、商用は商用として眞面目に之れを辨じ、傍目もふらず歸來して店頭に頑張るを要す。

▲何となれば、昔は居留日本人が日本居留地の店舗に於て物を鬻ぐるや、其の物品の原價、運賃と關税、手數料及金利等の外、店主若くは店員が命の洗濯料の幾分をも負擔せざるを得ざりき、然れども日本國の朝鮮なる、京城に在住の内地人は最早や商人が命の洗濯料を負擔することを肯せざるべき氣勢を示しつゝある也。

▲内地人は、朝鮮に於ける頗ぶる高き金利は止むを得ずとするも、而して金利高きが爲めといふ理由あるにもせよ方外に高き家賃をば商人と共に分擔することをすら稍々厭はしく感じつゝあり、商人が口癖に『斯る高き家賃を拂ふて安く賣り得る筈なし』と云へる通用語は現今の京城に於ては至極なる理由あり、無理も無きことながら、併合に依て一新せられたる内地人は内地と朝鮮の間に縮地法の行はれもしたらんが如く思ひ做して、件の通用語に對して多くの同情を寄せざらんとするの傾向あるは爭はれざる事實也。

▲兩三年前、倭城會とやらん稱して、官吏の購買組合組織されしことあり、當時既に京城に於ける商店の唯一無二の好顧客たる官吏の心には、家賃の分擔は尙且可、商人が命の洗濯料迄も分擔するの義務無きを覺りたりしなり、但時機熟せざりし爲めか、或は組織經營の間然する處ありしに因るか、倭城會の成績は思はしからざりしも、今日若し同樣の企てあらば必ず好績を得べく、サテは商人に取りて由々敷大事なるべし、又此事起らじとするも多くの顧客は自ら用を節し若くは無用品を直接内地に注文する者多く成るべし、斯くては顧客は一方ならざる不便を忍ばざるべからず、商人は之れを見て溜飲は下かるとも利益にはならず、結局兩損と成る也。

▲吾等は商人に對して損をして迄も顧客に滿足を與へよとは云はず、顧客をして命の洗濯料迄も分擔せしむる勿れと云ふの也、這は是れ時勢の要求也、商人たるものユメ無分別を起すこと勿れ

雜報

航路標識の將來

▲島航路標識管理所長談

朝鮮に於ける航路標識事業は屢々述ぶる如く明治三十九年より以降五ヶ年繼續事業として金百六十六萬六千圓を支出することゝなり著々其武歩を進めつゝありしが本年は正に滿了の期に達せり翻て其實施の成績を觀るに朝鮮全岸に亘り燈臺以下浮標等合せて百六十餘件殆んど完成の域に達し僅かに鎭水端及竹邊灣の二燈臺を餘ますのみ此とても本年十一月中には竣工の見込なれば全部豫定通りに終了すべし惟ふに從來暗黑界なりし朝鮮沿岸も此等の設備に由りて航海上の便宜を得惹て貿易發展に資することも尠からざるべしと信ず然りと雖も朝鮮沿岸は由來暗礁淺灘多く且潮流急激にして航海者の最も困難を感ずる所なり殊に夏期に際しては濃霧海面を覆ふて咫尺を辯せず之が爲め座礁沈沒の厄に遭遇するもの甚だ多し現に本年七八月の交に於ては隆熙丸、鐵嶺丸、瀰耶山丸、興安丸、英艦「ベッドフォールド」等の艦船相尋で海難に罹りたるが如き其損害測り知る可からず故に一方に於て既設の航路標識を完備して其効用を充分に發揮せしむると同時に他方に於て更に標識の增設を必要とすることと今日の急務なり既設標識に對する設備に就きては今之れ等の要なし其增設を要す可き箇所は約五十箇所を算す可し此內燈臺三十餘ケ所霧警號十餘ケ所其他立標浮標等あり此等の設置は是非とも之を完成せざる可からず是等は單に机上の計畫に止まらずして海軍、商船業者等實際航海を掌るものゝ要望に出づるものなり然かも其經費は割合に少額にて足る可し何となれば孤立礁其他近寄り難き場所には看守員を置かずして一たび點火すれば數ケ月間は燈火を持續し得可き燈器を用ゆ可きを以て看守員を要せず從つて之か舍宅等も必要なし唯だ定期に巡視して燈器の異狀の有無を視れば足れり唯經費多端の折柄なれば果して實行せらる可きや否や未定なり

東拓の農事調査

東洋拓殖會社にては朝鮮に於て農事經營を爲し成功又は失敗したる原因と事情を調査し新來者の參考とすべく左記事項を夫々當業者其他に問合中なり

第一、▲農事經營に關する調査事項
（イ）土地及耕作に關する事項
如何なる地味、如何なる地勢、並に一人にて耕作したる面積
（ロ）耕耘の深淺、畔畦の立形
（ハ）種子の種類及一反步の播種量、鹽水撰の行否、播種播秧の距離、間隔
（ニ）肥料
（一）糞灰、人尿、畜肥（犬、馬、牛、豚、鷄等）温突灰山草等の利用
（二）油糟、鰯肥、海草等の利用
（ホ）農具中新式のものを利用したるものあらば其種類効能の有無
（ヘ）水利關係の有無並に交通機關の便否に關し農事經營者の蒙りたる影響
（ト）内地の農法を施したる影響及び内地の農法を普及して利益ある見込

第二 資本に關する事項
（イ）自ら資本を有し入朝したる者と否らざる者との關係
（ロ）種子の肥料、農具等供給を受けたる關係

第三 勞力に關する事項
（イ）畜力（牛又は馬）を利用したる效果
（ロ）牛又は馬並其の附屬品共自ら買入れて耕耘したると賃料を出して耕耘したるとの得失
（ハ）韓農夫を雇入るゝ年期雇又は何ケ月又は臨時雇の得失
（ニ）韓農夫の監督奬勵方法及其功程（内地農夫及清國農夫の比較）

第四 販賣に關する事項
（イ）如何なる方法を以て販賣したるや
（ロ）販賣に關し仲買人等の手數料其他販賣に要する雜費
（ハ）販賣して得たる純收入細目（一丁步又は一反步當たり）

第五 副業に關する事項
（イ）副業の種類特に農閑の際行ふ副業例へば藁細工其他の手工業等
（ロ）果樹、蠶業、養蜂、養鷄、養豚に關する事項

第六 農事經營の收支に關する細目（一町步又は一反步當たり）
（イ）農事經營の收支の外之に付帶したる租税組合費等
（ロ）農家生活費細目（一戸四人又は一人平均當たり）

日鮮海底電信

遞信省機密重要問題たる本土、新領土間唯一の通信機關たる對馬島と小茂田釜山間海底電線約六十哩の買收問題は來年の遞信大臣を經て後藤遞相之を折衝するに至りたるが同線の獨占權を所有する大北電信會社は本社を丁抹コッペンハーゲンに、支店を上海に、出張所を長崎に置き東洋に於ける海底電線のオーソリチーを以て注目せらるゝ株式會社にして遞信省にては日韓併合の機熟するや切に該線買收の必要を感じ其主管たる和蘭公使フランドイエン氏を介して同電線所有者たる大北電信會社に向つて買收交涉を開始したり依て同公使館は兩者の間に往來しつゝありしが同會社は明治四十六年三月三十一日を以て該電線の獨占權を失ふにより年十割といふ破天荒の配當を爲し居れるも四十六年の期限を以て遞信省が海底電線を設置するに於ては非常に影響するのみならず只に對馬釜山間の通信のみにては何等利益を收むる能はざるは明かなれば目下の處帝國の買收交涉を應ずることに決定し總支配人バーセン氏は之が折衝のため去八月中旬來朝帝國ホテルに滯在し當局と交涉を重ねつゝありしが其交涉大に步を進めたるを以て之が解決を告ぐるに至るべしと

南滿稀有の豐作

本年滿洲の農產物は北滿に於ては多少水害を蒙りたる地方あるも尙は平作の見込確なるが南滿に於ては新民府下一小部分の水害地を除き各地豐產の聲高く大豆は二割增なりと云ひ高粱は更に好成績にして支那人等は四十年來の豐作なりと歡喜し居れり然るに高粱の作付反別は近年一般農民が偏に大豆作の增加を計り甚だしきは高粱其他を耕作すべき地域にまで大豆を耕種する者多きより荒蕪地開拓の割には高粱耕地の增加を見ず或地方に於ては却て減少を來せる有樣なり而して高粱は支那人の常用穀類の最主要なるものにして滿洲に於ける清人移民の增加と共に其消費高も追年巨額に達し殊に從來大豆に加工して食料の一部となし居たるものも今や其全部を賣出さんとて之が塡補には高粱等を充つるの必要あり本年の大豆出廻が一層激增するは勿論高粱も亦例年以上の出荷あるべく豐作の割には價格は維持すべきかといふ

講談

大岡政談 越後傳吉

第九十六回　旭堂南陵講

金「何でもその女が、越後の生れだといふので、身體が大きに全快なつたから越後の親を訪ねて會はしてやらうと、何所までもこの野郎は女に野呂間野郎で、その嫁と一所に越後の方へ參りましたが、すご／＼戻つて來て、れ父さんれ岩は誘拐されて死でしまいましたとの挨拶、イヤハヤ呆れ返つて物がいへません、金を使ふた後で女房を誘拐されて猶は殺されて戻つて來るといふやくざ者、その揚句に斯うして又役所事を拵へをつたんです、コレ、れ前は何かれ役所へ出るやうな惡い事でもしたことがあるか、大家の旦那の前だ、又何うとでも御相談がして貰へるからいつてしまへ　家「サア／＼何うした金之助さんれ今父さんが彼の通りいつて居らつしやるんだから、いつてれしまひ何かあるのかい　之「ヘイございます　家「エッ金太夫さんあるさうでございます　金「ソレ／＼、斯ういふ奴です、心細い伜です、偶に此頃は温順くなつたと思つたら惡い事をしやアがつて一體何をしたんだい　家「金之助さん何、何をしたんだ　之「ナニ盗みも何にもしやアいたしませんが　家「ハア　之「關所破りをしたんです　家「エッ」大家の旦那も驚いたが、金太夫も腰を拔さんばかり　金「何といふ奴でせう、此奴め大家の旦那、することもあらうが、關所破りをする奴もないものだ、サア／＼關所破りといつて一體どんなことをしたんだ　之「嬶を連れまして越後へ行く途中に、れ關所がありましたが越後境りへ參らうといふ量見がないものですから、關所手形も何も持て行きやアしません、仕方がないから彼の邊の人足を頼んで金をやつて關所の裏を越ねました、大方それが知たんだらうと思ひます　家「ソレ／＼金太夫どん、エライことになりました、大方何だらう、その金を遣つた雲助なんかゞ惡い事をして取ッ捕まりそれをばいつたに違ひない、關所破りは當人磔刑だよ　金「エッ、大家の旦那こんなマア放蕩の小伜でございますが此奴が磔刑になるとすると、私には只だ一人の伜、何とかして助けて貰ひたいものでございます　家「エライ事が出來たな、併しマア金太夫殿れ奉行様が名奉行といはれた大岡様だ、若氣の至りで前後の分別もなくしたんだ、どういふれ調べを下さるか分らないが、れ奉行がれ情深いから兎に角出て見ませう、マアその時のことにしやう、金之助さん、どうれ尋ねになつても無暗にれ奉行所で喋舌つちやア不可ないぞ、宜いか、喋舌つて惡いところへ來ると私がヒョイと眼で知らすから、その眼は默つてれしまひ、親も何か　之「有難うございます」親「金太夫はガンカリしてしまひまして、翌日になりますと打揃つて南町れ奉行所へ入ります、相變らず正面は名奉行大岡越前守様御着席、此間とは違つて庄左衛門にはやはり總附で出て居ります、また當日は金之助調べにつき、彼の傳吉が居つた三浦屋の取調もあるから、吉原の大籬三浦屋四郎右衛門方からは番頭の藤助も參り、甚右衛門、三右衛門、傳吉等と共に其所へ出て居ります、例に依つて一同みな控へて居ると越前守殿、　越「淺草田原町木幕金太夫倅金之助、面を上い　金「ヘイ……」金之助はもう腹の中はドキ／＼してゐる、れのれに惡い覺ねさへなければ役所に行つたッて、何所に行つたッて何ともないけれど、れ關所破りといふ覺ねが腹の底にあるから、こりやア磔付になるわいと思ふと、もう金之助は蒼白な顔でドギマギしてゐる　越「其方先達て妻を從れて越後路へ參つた趣であるが、相違ないか　之「サ、サ左様でございます、エー、エー、エヱ、女房の、イ、いわを從れましてエ、越後の夕、高田の在に參りましてト、途中でその何でございまして、オれ關所の旅劵がないものでございますからヨ、ヨ、據ろなしに中川の御番所を破りました、ワ、惡い了簡で以てしたのではございません、ケ、決して惡い了簡でしたのではございません」越前守殿これをた聽になつて　越「さては此奴中川の番所を破りをつたナ」と思召された、隨分昔は斯ういふことをする者が澤山ある、ところで大岡越前守は重箱の隅を楊枝で穿くるやうなれ方ではない。



合併後の産業振興策(十七)

京城民會議長 和田常一君談

既に貴紙に掲載せられたる諸士の御説に依て殆んど悉されてゐるやうです、私は別に新たしい意見を持ちません、例へば誰れにいはせても交通機關及び金融機關の設備を必要とせらるゝ、是れは富く唱へらるゝ説であつて新しい説じや無いのですが、富く唱へらるゝだけ夫れだけ必要であり急務であるのです、それで今之れを聞いても矢張り新しい感じがする、と云つたやうなことはありませう、故に大体に於ては諸士の御説通りとして少しく私の盲き而して最も普通なる意見を述べて見ませう。

交通機關の急設は第一に必要事であるとして、又金融機關も之れと相如く必要事として、唯大資本の放下が今の朝鮮に必要であるか怎うかは疑問でせう、つまり有利なる大事業の發見せられざる限りは考へものでせう、次に産業其のものに就て一々に云へば鑛山、之れは調査不行屆きの爲めか、若くは地質上に理由が有るのかは知らぬが、今の處甚だ有望で無いやうです、米人コールブランの經營せる甲山銅鑛などは、朝鮮に於ける最も有名な鑛山で、明治十六七年頃迄は朝鮮人の採鑛で大分京城にも銅を送つてゐましたが今は如何ですか、兎に角尚調査研究の必要がありませう、

夫れから農業 普通農作物は急に發達の方策はありますまい、尤も之れは種子農具の改良、料肥使用などを朝鮮人に教ねて行らすのは別としての意見です、東洋拓殖會社では少しく資産を有する移住民の爲めに便宜ある規則を設けられたやうですが、内地に一二反歩も地所を所有する内地人が、郷里を離れて來ますかドーですか、假し來るとしても先づ鐵道沿線より十里以内の地か海川の便好き處で無くては居堪りますまい、そして棉花、煙草といふが如き特性農產物を作らせるが宜しい、之れは收益の上から云ふのです、何は茲に一つ大切なことがあります、夫れは半島の内地に於て農業に從事しやうとする移民自身若くは農業經營者は其使用人たる移民を都會に三日以上滯在させぬ滯在せぬといふことにせねばならぬのです、都會では農業に從事するよりも金儲けが多い、内地の都會に住むが如き世智辛きもので無いといふ心が移民の胸に起る、隨て内地に入込むでも辛棒が出來ぬからです、以上の如く移民の手を借るには種々の條件を充たさねばならない、去れば利益の多き特種農產物の栽培ならば或は宜しいでせう、普通農產物は先づ此處十年間位は朝鮮人を指導奬勵するといふ邊に止めるが可いと思ひます、私の見るところでは水產業が内地人に最も適するだらうと思ふ、唯運搬と販路とは、然るべき方法を講じて遣る必要があります要之に朝鮮の產業振興は内地人の頭と朝鮮人の手足を以て成さるべきもので、先づ頭の好む處を先きにして十分の意氣込みをつけて後手足に及ばねばならぬ、其間とて手足を徒らに遊ばせて置くのでは無い、同時にても頭の命に應じて働くだけの力を養はせてれく丈けの必要はある、故に私は内地人を本位として朝鮮人を從位に置き右の説を立てたのです。

●龍山の清潔法日割

龍山憲兵隊管轄清潔掃除日割左の如し

十一日 漢江通一、二、三丁目、櫻田町、天町、東檜洞町、漢江[illegible]迄▲十二日 漢江通西、五丁目、山下町、柳町、南山下町、小松通、京町、水道町▲十四日 梨太院、黄鶴洞▲十五日 屯芝味、元興洞▲十六日 新京里

東京電報

▲葡國革命の公報 葡國政府は國事犯の大赦を行ひ府縣知事を任命し國内一般に平穩也(十一日)

▲明年度豫算査定 明年度豫算は一應調査を終り目下歳出入の均衡を得ん爲め各省の請求せし新事業に對し査定を加へつゝあり大問題とも云ふべきは朝鮮特別會計、海軍補充計劃、公債償還基金繰入等にて既に大体の方針決定したるを以て二十日頃開かるべき手形交換所聯合會を機會とし大藏省より其大体を發表すべしと(同上)

▲首相總裁の默契 政友會の少壯派中には朝鮮併合に關する違憲問題を以て政府に突貫せんとする者あるも近時桂内閣は頗る順境にして明年條約改正問題解決の上西園寺侯に内閣を引繼かん意思あり兩者の默契成立し居れば來期議會は平穩無事ならんと想像せらる(同上)

▲朝鮮憲兵隊管轄 今回朝鮮憲兵隊管區を左の如く定めらる京城憲兵隊司令部は朝鮮全部の憲兵隊を管轄す水原憲兵隊は京畿道、大邱は慶北道晉州は慶南道義州は平北道平壤は平南道鏡城は咸北道咸鏡は咸南道公州は忠南道淸州は忠北道光州は全南道全州は全北道春川は江原道海州は黄海道とす(同上)

▲商船校の練習船 東京商船學校練習船大成丸は本月下旬來年度の卒業生乘組み越中島解纜朝鮮近海一週の途に就く筈なり(十一日)

▲兩本願寺の布教 東西兩本願寺は極力朝鮮全道の開教に努力する計劃にて目下競爭の姿なりと

▲大演習と司令官 今回の特別大演習の兩軍司令官以下幕僚等の任命は既記の如く二十二三日頃發表せらるゝ筈なるが乃木大將の病狀捗々敷からざるより伏見大將宮代りて司令官の任務を執らるべく變更すべしと(同上)

▲救濟千五百萬圓 日露戰役傭人損害救濟に關する規程及手續に基き各受領者への通牒は十五日前後なるべく救濟金の總額は一千五百萬圓なりと云ふ(同上)

北京電報

▲北京火藥庫爆發 保天府の火藥庫爆發し附近の家屋破壞し死者十五名負傷者二十名あり(十一日)

●英國軍艦濟州島に向ふ 英國軍艦ミナチ號は去る四日雄基灣に入港碇泊中なりしが十日午後同港出發濟州島に向へり

●騎兵聯隊發火演習 騎兵第二聯隊發火演習日程左の如し

十日麻浦、臥牛山間 十一十二十三十四十五日 二坂通練兵場、漢江間(第二中隊)

雜報

大觀亭の園遊會 十一日午後二時より大久保駐剳軍司令官は寺内大將宇佐川中將明石少將以下駐剳軍司令部憲兵守備朝鮮步兵隊附將校等二百餘名を大觀亭に招聘して盛なる園遊會を開催したり

電車區域の變更 鐘路より龍山最終點に至る電車線路は三哩六十鎖なるが同會社は從來南大門停車場前を限れる區域を新舊龍山分岐點に變更したり而して同所は全線の中間に位し基點より一哩八十鎖なりと

京城水道買收交渉 英國シンジゲート京城水道會社の買收問題は久しき以前よりの懸案たりしが今又東京に於てシンジゲート代表者は其筋との間に交渉を開始し會社側にては二百八十萬圓なりと主張し政府側は二百六十五萬圓なりと唱へ未だ折合までに至らざれども本年中には解決すべしと云ふ

●痘苗製造所の繁忙 近來地方に於ける種痘者の増加し來れることは既報の如くなるが昨今非常の激增を見るに至り内務部衛生課に向け痘苗請求の打電頻々として到着し二千人或は三千人分と日々送附を求め來りつゝあり衛生局にては之れに對して直ちに痘苗を供給し居れば各地に於ける種痘者の如何に增加したるかは推知するを得べし而して衛生局より送附する痘苗は各地を合して一日多くは五萬人分少くとも三千人分を下らず一方痘苗製造所に於ては其痘苗製造量に制限ありて一日七千人分以上を製造する能はず されはとて之れが爲めに豫め貯蓄する能はず其貯蓄期間としては谷期中六ケ月夏季中は二ケ月以上を維持する能はず故に昨今種痘者の激增は俄かに種痘製造所に大影響を來し同製造所に於ては何れも必死となりて之れが製造に鞅掌し昨今に至りては總員殆んど無休徹夜の狀態にありと

●本年各地方の初霜 觀測所の所報によれば本月八日以來寒冷頓に加はりて滿洲及び朝鮮北部の各地には初霜初雪等ありと今昨年と比較すれば左の如し

			昨年に比し
初霜	長春	十月九日	七日晩し
同	京城	十月十日	五日晩し
同	平壤	同	四日早し
同	龍岩浦	同	四日早し
同	城津	同	十日早し
同	營口	同	三日早し
同	奉天	同	六日晩し
初氷	城津	十月十日	十日早し
同	平壤	同	十三日早し
初雪	奉天	十月八日	十八日早し

●工業傳習所陳列會 東部梨花洞なる工業傳習所にては毎年春秋二季一般に實習作業の狀態を觀覽に供し併せて生徒の製作品を陳列して即賣せしが本年は來る十六日日曜日午前九時より第二回陳列會開催の筈にて準備中なるよし今案開催の際は觀覽人六千人以上に達し製作品も午前中に殆んど賣切の好況を呈したる由なれば今秋も同所附近の風色を賞し旁同日は參觀するもの多かるべし因に觀覽希望者は同所に申込ば交付さるよし且つ團體觀覽者は前以て屆けらる可と

●各地の虎疫新患者 平壤地方に於ける虎列拉病に關しては屢々報道せし所なるが十日迄に各地より右狀況に付防疫本部に達したる報告によれば初發以來今日迄の患者總數二百五十五名にして内死亡者百八十二人全治者八名現在六十五人にして十日の新患は三十四名なるが之れを各地に就て見るに平壤に五人平安南道南祭山面に二十三人保山に五人他は何れも新患の發生を見ずと

●韓銀貨幣發行週報(自十月二日至十月八日)

銀行券總發行平均高	一七、二八五、七一四・〇〇〇
内正貨準備發行平均高	六、〇六二、八二一・〇〇〇
保證準備發行平均高	一一、二二三、八九三・〇〇〇
硬貨發行高(十月八日現在)	六、九六九、八二一・二〇〇
金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇・〇〇〇
同 十圓	五〇、〇〇〇・〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇・〇〇〇
銀貨五十錢	九七二、五〇〇・〇〇〇
同 二十錢	一、七一七、〇〇〇・〇〇〇
同 十錢	一、三五七、三二一・二〇〇
白銅貨五錢	五九三、七五〇・〇〇〇
青銅貨一錢	二九九、五七五・〇〇〇
同 五厘	七九、六六九・〇〇〇

●觀光團の秘園觀覽 觀光團員は十一日午前八時夫々旅館發足パタコ公園に集合歡迎案内係り誘導にて同九時金虎門より昌德宮に參入權藤理事の案内にて仁政殿を參觀し夫より動物園博物館等觀覽正午李王殿下の特旨により秘苑に於て茶菓及び午餐の饗を賜はりたる後ち弘化門より隨意退散せりと

●大岡氏の送別會 十一日午後六時花月に於て曾我佐々木兩氏發起となり前京城日報社長大岡氏の送別會を開く

●寺田檢事の入京 寺田檢事は十日午後二時五十一分平壤發列車にて入京

●總督府の長官會議 十一日午前十時半より總督府に於て長官會議を開き寺内總督、山縣政務總監、有吉總務長官、石塚取調局長官、荒井度支部長官、俵土地調査局長官、宇佐美内務部長官、池田通信局長官、大屋鐵道長官、明石警務總長、木内農商工部長官、倉富法部長官等列席したり

●耶蘇教地方傳道期 去る一日より開始せる京城鐘路青年會館を始め二三の基督教大學傳道は毎時數百の來聽者あり目下盛んに信徒勸誘中なるが本月末日迄では一先づ中止し各道に宣教師を分布し地方大傳道を開始する由因に當地に於ける會合にては毎時數十名の入會者ありと云ふ

●昌德宮の演武大會 京城憲兵隊及び各警察署監獄署員の聯合演武大會をば來月曜日頃昌德宮秘苑に於て開會の筈なるが當日は李王同妃兩殿下を始め各王族殿下等臨場觀覽せらるゝ由なれば銃槍劍術柔道共當日の立合こそ目覺しかるべく各署員並に憲兵隊とも盛に練修中なりと

●高等女學校落成期 京城民團立高等女學校は南山町本願寺下なる元日の出小學校分校跡に目下新築工事中なるが工程大に進捗して來月中旬には落成するに至るべく同校舍は五百人を收容し得る設計にて同月中には移轉して授業開始の運に至るべしと

●長崎商業同窓會 當地在住長崎商業學校出身の人々は來る十四日(金曜日)午後六時より擲翠樓に於て同窓會を開催する由就ては發起人より夫々通知をなしたる筈なるも右通知漏れの方は十八銀行内片山迄申込まれたしと

●商船支店長出發 前大阪商船會社仁川支店長淺井長明氏は今回仁川俱樂部へ金五十圓を寄附したり因に同氏は十四日仁川出發歸國の途に就く由なり

●吉田檢事の着任 京城控訴院次席檢事吉田恒太郎氏は十日午後十時二十分南大門驛着列車にて着任十二日東大門官舍十一號草墳檢事跡に引越す筈

●大岡力氏出發期 前京城日報社長の同氏は博物館長として總督の推選ありしも氏は固く之を辭し暫く閑地に就く筈にて來る十五日朝出發歸東の由

●中川中佐の出張 陸軍兵器本廠中川砲兵中佐は朝鮮兵器支廠に於ける兵器業務視察の爲本月下旬出張する筈

●慶北長官の入京 慶尚北道長官李軫鎬氏は十日午後二時五十一分平壤發列車に乘車し同夜南大門着入京したり

●威諾汽船の入港 十日午前二時ノルウェイ汽船アンナー號上海より入港

●土地調査事務員 十月漢城高等學校に土地調査事務員の卒業式を擧行す

大觀光團の出發 滯京中の鐵道院主催觀光團は十一日午後十一時南大門發臨時列車にて北行す

京城民團の財產 京城民團の負債額は別記の如く約十三萬七千圓なるが今財產を問くに土地、建物有價證券を併せて計四十二万五千圓にして其の内譯は左の如し

△土地の部

	反別	價格
宅地	七町九反九畝	十九萬八千圓
畑	一町二畝	六千百三十四圓
計	九町一畝歩	二十万四千圓

△建物の部

三千六百十一坪 二十一萬二千二百二十一圓

△基本金の部

御下賜金 六千七百圓

總計四十二萬五千四百四十八圓

民團財政の膨脹 京城民團役所は去る三十九年八月十五日民團の設立と同時に開廳されたるものなるが今明治二十八年總代役場時代より今日に至る民團財政の膨張經過を見るに二十八年總代役場の經費七千圓に過ぎざりしが今四十三年度に於ては二十七萬圓に達し尚龍山合併後は三十万圓を超過するに至れり今其の增加率を示せば左の如し

二十八年度	七千圓
三十年度	一萬千五百圓
三十二年度	八千九百九十七圓
三十四年度	一萬五百三十七圓
三十六年度	一萬九千六十圓
三十八年度	十二萬八千六百九十八圓
四十年度	十五萬六千四百五十一圓
四十一年度	二十二萬三百三十三圓
四十二年度	二十二萬六千百六十三圓
四十三年度	二十七万二百四十六圓

●京城民團の負債額 最近の調査に依れば京城民團の負債額は總計十七萬九千七百圓なるが過般内金四萬二千圓を韓國銀行に償還したるを以て現在額は十三萬七千三百五十圓なり而して其の償還期は韓國銀行の十一万一千三百五十圓は來る四十八年百三十銀行の二千圓は今年中又小林長兵衛氏の二萬四千圓は四十七年迄の期限

●仁川會議所役員會 仁川日本人商業會議所にては既記の通り十日午後一時より役員會を開き地方農況視察員派遣の件は近々穀物協會より派遣さるゝ理事橘香橘氏に囑托する事に決定し回文會議にて總會に附する由同二時より收入調査委員會を開き四十四年度の總ての收入に關する件を議し午後六時閉會せり

●仁川の消火栓試驗 仁川警察署にては十日午後二時より宮蔵署長、岩崎庶務、樋口助役、松田水道所長其他所員立會の上水道消火水管の試驗を宮町に於て執行しかるに成績頗る良好なりしと云ふ

●仁川郵便局の統計 仁川郵便局九月中取扱郵便物數及貯金受拂高左の如し

書留郵便引受高	二、八八八枚
小包郵便引受高	九九九
書留郵便配達高	四、三八三
小包郵便配達高	一、七九三
郵便爲替振出高	二、八三四・六九厘
外國爲替振出高	三六八・二二〇
郵便取立受入高	二、三九四・八四〇
郵便貯金預り高	六、六三九・六五四
振替貯金受入高	一九、一四三・一四五
歳入金受入高	八、三二三・六八五
郵便爲替拂渡高	三、八四八・一九七
外國爲替拂渡高	四一一・八四〇
郵便取立拂渡高	二、六八八・六〇五
郵便貯金拂渡高	二、二〇八・二〇一
振替貯金拂渡高	二八、八九四・九一四
歳出金拂渡高	五、七〇六・八三〇

●世界一週團仁川行 入京中の世界一週外人團體十名は十一日午前八時三十分南大門發の列車にて仁川へ向け出發したり

●鄭氏毎日申報入社 元帝國新聞社長鄭雲復氏は今回毎日申報社の社長兼主筆として入社したる由なれば今後の同紙は面目を一新すべし

●朝鮮通信發行停止 十日發行の朝鮮通信は其筋より治安妨害の廉を以て發行停止を命ぜらる

●李海昇侯の奉告式 侯爵李海昇氏は十一日揚州なる祖先の墳墓に到り敍爵の奉告式を擧行せり

●民團の決算委員會 京城民團は十一日午後三時より決算委員會を開き四十二年度の決算を審議す

●武井咸北長官出發 武井咸鏡北道長官は十一日午前九時南大門發列車にて釜山へ向け出發せり

●雜誌朝鮮十月號 先づ表紙の体裁至つてシブク大に吾人の意を得た卷頭の旭邦子が椽大の筆を揮つて「總督政治の方針を論ず」と云ふ六頁に渉る大論文は近來の讀物である、其他學術訪問等愈々範圍を廣くし趣味津々たるものがあるが就中旭邦子の蘇峯氏訪問記は蘇峯子の人格を知り得ると同時に筆者たる旭邦子の人物をも窺知するを得て頗る面白い諸專門家の學説をいつもながら多數に載せたのは本紙の特色である代價廿錢發行所本町九丁目其社

公人私人

▲若松兎三郎(釜山府尹) 十日釜山へ

▲掛井生治(韓銀鎭南浦支店長) 十日入京し不知火旅館に投宿す

▲岡田時太郎(滿鐵技師) 同天眞樓投宿

▲櫻井小一郎(財務部長) 同浦尾投宿

▲京城手形交換高▼

十月	金高	枚數
十一日	一九、七〇〇	五六九

▲大阪期米電報▼

▲後場(十日) 十月限寄十五圓三十錢止三十三錢十一月限寄[illegible]

止二十一錢十二月限寄十五圓二十六錢止二十七錢

▲前場(十一日) 十月限寄十五圓三十九錢▲十一月限寄二十五錢十二月限寄三十錢

▲仁川米豆取引所▼

▲後場(十日) 十二月一節八圓八十錢七十九錢二節八圓七十九錢三節八圓七十八錢七十八錢出來高一方二千四百五十石

▲前場(十一日) 十二月一節八圓八十錢一錢八十錢▲二節八十錢七十九錢八錢▲三節七十九錢

▲仁川港の出入船舶▼

△汕頭丸 十二日大阪より入港

△秀吉丸 同 大阪より入港

△汕頭丸 同午後五時大阪へ向出港

△秀吉丸 同午後四時大阪へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 十日の分如左

乘車客 六四九 下車客 八〇三

乘車賃金 一〇七〇、八一

▲南大門荷物扱高 十日の分如左

發送 七〇噸 到着 一五一噸

發送賃金 六〇八、二八

▲龍山驛の乘降客 十日の分如左

乘車客 二〇九 下車客 二八二

乘車賃金 二四八、五四

▲龍山驛荷物扱高 十日の分如左

發送 八七噸 到着 二一六噸

發送賃金 三四六、四二

▲治外法權▼

寺内總督は此二十日頃を以て一時歸東さるゝソウだ、併し家族は同行せぬとの事なれば用事の濟み次第歸つて來られるダロウ▲總督と云へば將軍の今度の東上は凱旋も同樣だ、來る二十六日乃ち將軍が新橋へ着かるゝなるべき二十六日は伊藤公がハルビンの露と消へられた日だ、僅か一ケ年間に半島が帝國の一部となり寺内總督が新橋で歡迎さるゝとは世事の變遷實に驚くべしだ▲府民大懇親會の場所で「朝鮮新貴族が某邦人大官に向かつて奇問を發して居た、曰く去年の今日は我々は隨分苦んで居た、今年の今日は爵祿を得、安心して懇親會に臨んで居る、來年の今日はドウなるかと、此奇問には流石の大官も答へ得ず微笑しつゝ話題を他に轉じた▲我々にして聞けば前記の問は奇問だ、併し朝鮮人としては決してソウではなからう去年と今年亦た來年、夢に夢見る心地して居るのが鮮人の胸だ▲併合に關する統監の諭告は名文だが一体何人が執筆したかとは某所で起つた話題だ、某曰くアリヤ東京で書いたのだと、某曰くアリヤ小松外務が書いたのだと、某曰くアリヤ總督自身が書いたのだと、記者は全く誰が書いたかを知らぬ、併し名文と稱するだけは一致だ▲大懇親會は成効したが豫算では失敗した、一体事を創める前に豫算を組ますしてヤルものがあるか、足[illegible]せんと、あとから[illegible]寄附をツナグなど[illegible]もない事だ。

제531호 1910. 10. 12.

●龍山の清潔法日割 龍山憲兵分隊管內清潔法施行日割左の如し [illegible] 漢江通一、二、三丁目、榮町 [illegible] 漢江通四、五丁目、山下町、[illegible] ▲十四日 梨太院、黃鶴洞 ▲十五日 屯芝味、元曉洞 ▲十六日 新[illegible]

●[illegible]濟州島に向ふ [illegible]は去る四日雄基港に[illegible]しが十日午後同港出發濟州島に向ひたり

●騎兵聯隊發火演習 騎兵第二聯隊發火演習日程左の如し 十日麻浦、臥牛山間十一十二十三十四十五日 二坂通練兵場、漢江間(第二中隊)

●大岡氏の送別會 十一日午後六時花月に於て曾我佐々木兩氏發起となり前京城日報社長大岡氏の送別會を開く

●寺田檢事の入京 寺田檢事は十日午後二時五十一分南大門着列車にて入京



長谷川町本願寺取消

[illegible]云ふ如な投書があつたが此れを號けて「江戸の仇を長崎投書」と云ふのだと本願寺に對し好意を以て掲載したるに對し同寺より左の如く取消し申込みありたれば取り消す

青山主任は親切にして

貴紙五百二十八號平民文庫に長谷川町本願寺云云と記載ありしも之れは云何なるものかの仲傷的投書にして青山主任は親切にして非常に信徒の氣受けも宜敷又下役開教師とあるは雇員にして八月十六日依願解雇せしものにしてトーマンカツツせしものにあらず

右は事實相違に付此全文を掲げ然べく御取消被成下度候也

長谷川町本願寺內 山田憲淨

青山主任の親切は聞へたが解職したものがトーマンカツツしたかせぬかは如何して保證が出來ますか之れに依つて見れば先の投書家も強ち事實を虛構したものとは思へず何んでも本願寺に雇はれ中酒色に金錢を浪費した爲め不義理の借金嵩みたるよりトーマンカツツすべく暇を貰つて追ん出た奴があるのだ處が貸金のある方では本願寺に居る坊主の片破れと誤解し同寺に向つて行衛を問合はするスハト同寺では解雇したもの〻事は知らんと權利義務を明白に主張されたのを癪に障へた人のあるのは事實らし

疑ひ解けし朝鮮人

▽忠實なる好勞働者

東京本所若宮町卅八無料宿泊所に去月十六日以來收容中の朝鮮人朴聰三(三〇)は朝鮮全羅道太店の產六年前同村朴仙蠏(三七)と云へる婦人に婿入りし仙均(五)と云ふ子を儲けしが養母仙均との折合惡く家內に風波の絶ゆる間なきより妻子を捨て〻家出し四十年六月中九州に[illegible]の雜役夫に雇はれしもの[illegible]夜面白き事もなきより東京は[illegible]の仕事も多しと聞き上京の[illegible]し去月十四日夕六時新橋に着[illegible]案內なる爲同驛出張の警官に[illegible]ねし言語の邦人らしからぬを[illegible]之署へ引致され結局前記宿泊[illegible]されしにぞ同所では早速同人[illegible]同町三丁目の小關と云ふ人の[illegible]込ませて安全に衣食の望を與[illegible]斯くとも知らぬ神田署は小關[illegible]報告に依つて毎日毎夜角袖巡[illegible]しい韓人が起居すると云ふ受[illegible]甚しき時には日に六回も七回[illegible]爲めに斯くまで迷惑を蒙つて[illegible]面會を求める仕儀に流石の主[illegible]評判も惡く延いて商賣に影響する樣な事になつては一大事と氣の毒ながら無料宿泊所に送り返し同所にては憐れな朴の身の上に同情して其日其日の仕事を世話し同人も又實体に立ち働き居しが夫れでも警察署は未だ疑ひを解かず之れが爲め同人は非常に迷惑し居たる此の頃に至り前記の事情判明し何所に居住するも差し支へなしとなつたるに朴は爾來一層忠實に勞働に從事しつ〻ありとは芽出度し

永田警視の印偽造

▽四人掛りで一百圓

開城府北部東廊洞十三統戸李命植(四[illegible])は京城南大門外日韓運輸合資會社開城支店長として支店經營に從事中の所李命植は獨立して經營仕度き望みありしも警務總監部の認可なければ營業警察署が許可せぬより京城に來り該運動に從ひ居たる內九月中旬突然本店が營業禁止となると同時に支店も閉店するの已を得ざるに至り愈々運動の必要を生じ京城中部澄清坊相思洞四統十戸曹乘勳なる者と懇意なるより相談せしに曹乘勳は東大門外紅樹洞七統五戸金相烈なる者に相談し又金相烈は西部盤石坊鑄洞百八十統九戸鐵道管理局員方漢春なる者と相談せしより方漢春は元北部署巡查たりし宮城縣人當時北米倉町石母田阜(三八)と豫て鐵道管理局にて知り合になり懇意なるより相談の上警務總監部永田警視が此の方の掛りなれば同警視に運動が必要なりと曹乘勳金相烈方漢春三名は金命植より最初の手附金として百圓と五十圓の手形二枚を受取り成功の上は更らに二百圓を交付す可き契約を爲し石母田には方漢春より分割する事とし現金百圓は三人にて分配し四人共謀して南大門外某彫刻師へ依賴し永田なる認印を彫刻し石母田をして開城警察署長宛許可す可き旨の書狀を認め之に永田警視の名下に押捺し渡したる事東部警察署板倉刑事の探知する所となり一昨十日犯人全部を引致して目下取調中

●龍山に大神宮 奉祀計劃

龍山老松町六十九番戸木村定次郎は龍山に約五千人の日本人居住しながら一ツの氏神なきを遺憾に思ひ今度龍山紋平山上に大神宮を建設せんと志し各町の名望ある向に對し勧誘し其の同意を得て十一日警察署に願出でたるに署長も同人が平常品行方正にして篤實なるを以て大に便宜を與ふ可しと

●日の出小學校の運動會 豫定

の八日は雨の爲め翌九日は府民大懇親會のあるに遠慮延期したる日の出小學校の運動會は去る十日奬忠壇に於て開かれたるが當日は朝來の好天氣に加ふるに抑へ難き勇氣を空しく二日間歷へられし事とて生徒は勿論親御方の意氣込み凄まじく定刻の九時半と云ふに競技を開始し無事五十六番の競技を演了し和氣藹々たる裡に天皇陛下の萬歲を三唱して散會したのは午後五時半頃なりし當日の來會者及び一般觀覽者は三千餘名に達したりと云ふに徴して其の盛會を忍ぶべし因に來賓の重なるは總督代理として副官藤田大尉、大庭京城府尹、古城民長、婦人側にては石塚、石井、外波、佐々木、本多、澤、中山の各夫人及び目下來京中の觀光團員十餘名なりし尚は寺內總督よりは金五十圓を寄贈せられし外各人各個よりの寄贈金品五十餘圓ありたりと云ふ

●掏摸被害の續出

此の頃掏摸の被害續出するが其筋に於ては嚴偵中なるが京城岡崎町百二十五番戸雀堂リエは南大門郵便所にて金百二十四圓を南部棗洞田上光藏は明治町五十錢賣所に於て二十餘圓を掏摸取られし由なるが一般に注意肝要なり

●馬の脚下駄を穿く

三重縣津生れ稲井定吉(二五)は昨年十月頃下の關に來りて何か一儲け爲さんどしたるも別に思はしき事もなきより其頃同地にて興行中なる喜劇曾我の家一派に加り渡鮮せしもまだ下廻りの事とて甘い酒も飲めざるゆゑ南浦興行中一派と別れ仁川へ流れ込み豫て下駄職を覺へ居るより宮町邊の下駄屋へ本公せしも持つて生れた道樂者とて三日とは辛棒が出來ず暇をとり其後京城の某下駄屋へ本公せしも是れも一日にて暇を取り今度は龍山の山崎と云ふ下駄屋へ本公せしが何を感じたか此家には暫し辛棒し居りしが先月末のこと主人を甘く瞞着して行商に出掛ける事になり價格三十圓計

りの品物を持つて仁川へ來り毎日諸所に賣捌きては其金にて寺町の料理店一二三亭にて遊興したる事判明し引致の上昨日檢事局へ送らる

●双方注意が肝要

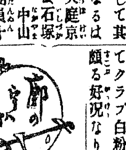
十日午後五時頃龍山若松町綾木酒店雇人小島榮藏(二三)は自轉車に乘り元町四丁目を馳走中通つて同町神崎元次郎長男清(四)を押し倒し後頭部に微傷せしめたれば早速十字病院へ連れ行き手當をなし治療費支辨するとの事にて事濟みたるが子を持つ親も注意が肝要なり

●仁川雜事

仁川花村洞五戸一戸朴春明は一昨日午後八時頃溫室に火を焚きしが傍にありし薪にも移り大事に至らんとしたるを消止む▲敷島遊客一昨日の登樓人員は三十五名にて散財金は百二十五圓七十五錢なり

●英國に於るクラブ洗粉

クラブ洗粉本舖は日英博覽會を機とし英國倫敦に賣店を設けたるに同地の貴婦人紳士間に非常に好評を博し賣行盛んにして第一回及第二回積出品の全部賣切れとなり又同博覽會より一等金牌を受領したりと尚同舖にては洗粉の姉妹品としてクラブ白粉クラブ齒磨を發賣し是又頗る好況なり



▲不景氣の風に追ひ飛ばされて溫突の裏のポプラの葉隠れに親子三羽行く秋の淋しさ日々を喞ち暮して居申した雀を花柳雀やら持ち直した景氣に誘はれて方々の家の裏の柿の木に三羽連れ立ちトーまつて小耳にはさんだ噂のき〻書久し振りにて下の如く通信申上候▲松葉亭の駒榮は飯より好きな酒を止め酒より好きな浮氣を止め一所懸命の神信心とは聞いた丈けで恐ろしく候▲病氣療養の爲めと世人を欺き南大門通のさる大店の旦那殿を咬へて京大阪と浮れ廻つて居た開進亭の老妓米八は南山町邊に殘した好さんが戀しくなつたので近々戻つて參る由なり▲同亭のアリヨロ[illegible]妓眼王のよく子は其の名のふぐに因みて近頃メキ〳〵と腹が膨れ出し肩で息して御座らつしやるが父親の名は…曰く町內氏子中▲井門の政子は近頃又候手ごろの椋鳥を生捕つて御全盛此れに就ては素的に面白い噂も聞いたが紅之助が怒るから遠慮を致し置申し候

●京城土產絹ふるい

[illegible]と云ふ粹な本の第一集が出版された平[illegible]云へば花柳界畫報とも云ふべきもので此の集は新町の名だ各樓各名妓連の寫眞十數葉を挿入して居る紙質も印刷も共に鮮明なものだ別段之れに依つて實益は得られまいが或る種の趣味はわる[illegible]も[illegible]ざる所大によし、行妓、好きど嫌ひを調べ上げたる珍とすべし例せば皆春樓の乙女は嫌ひなものは仲居のれちのきん斗り阿波生れの少將が顯禮が好で役人が嫌い井門の月枝京城樓の月子第一樓支店の吉野が揃ひも揃ふて新聞記者が嫌いと云ふ南山樓の南勇が眼鏡が嫌いと云ふの類にて面白きこと限りなし賣捌所は日韓書房、町田文林堂、本町五ノ秋山檜葉書店、本町六の秋田書店、新町の遠山小間物店、同じくなみ木等なり定價金三十錢が少うし不廉いなんどと吝な事は云ふ可らず

目ご耳(十二日分)

▲龍山座 壽座を打ち揚げたる東操一座にて開演「人か鬼か」東九州男●「畜生腹」「滿洲血染の地圖」東操

▲歌舞伎座 曾我の家一座其他の合同劇狂言は「巳が罪」外喜劇一場

▲浪花館 如雲一座は大喝采の內に五日限り打揚げたるが代りは大阪千歳活動寫眞にして重なる映畫左の如し 關東大洪水慘狀、舊劇安達原三段目、秋袖祭文の場淨瑠璃入、伊勢大廟宇治橋渡橋式の盛典、二見浦日の出光景、此他餘興數十種(二十錢均一)

▲露國大曲馬 明治町東拓敷地假小屋に於ける露國人「パローフスキー」一座の大曲馬每夜七時より開場

▲平民文園▼

▲夫有る身なれど生活上の都合で分離して官員樣の家庭に下女奉公を望みます誠實に働きますから御同情に依つて御傭い下さる方がありますれば本欄でれ知らせを願ひます(廿五歲女)▲壹岐國勝本の生れ西本かつ(り)住所御存じの方は御知らせを願升(西大門驛前一〇魚屋內實妹君代)▲本町一丁目の衛〇と云ふれ方は自分の給仕を飯炊同樣に使つて給料を吳れません又同所の根〇の主人は事務員末永君を二ケ月間勤務させて給料はタッタの五十錢を與へしのみ薄情な御方と存じます(鐵路生)▲平澤信の荷物は南大門の小林の處に積である(三十五番)▲他の同人の一身上に關する投書は多々あれども一切沒とす(係)▲園遊會などで行ふ模擬店なるものは貨[illegible]喫ふことを憚らぬ換言すれば僞らぬ眞文明人には便利だらうが外見を繕ふこさを知れる僞文明人には不便利なものだね(僞文明人)▲ですかな(小僧)▲某役所及び某警察囑托獸醫が屠牛業者を喝して小使錢を取つたと云ふことは何人かの仲偶なるべし[illegible]げよ(友人)

今日の運勢

十月十二日舊九月九日 五黃大安 庚戌建 △一白●新事旅行見合せの事親族の世話事あり保證引受連帶を[illegible]△二黑●設計目論見相談調査檢分等に吉遺失防ぐべし△三碧●諸事手控への事色情の破れ及盗害防ぐべし△四綠●新事旅行見合せの事貸借取引金談婚談委囑相談纏り難し△五黃●起業開店相談婚談共同組合連盟の事に忌む遺失横領防ぐべし新事旅行見合せの事△六白●快欣の日大凡吉旅行見合せの事人より咎疑にあふの恐れあり△七赤●起業開店婚談入學門披露命名に吉屋入れ及飼畜の事見合すべし△八白●業務上疎廣あり保證引受の類を避くべし△九紫●童僕の事頻累あり其他會心の日大凡吉(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報(自十一日午後六時至十二日午後六時)

北西風晴

十日(華氏) 最高溫度 五九、五 最低溫度 三四、三



小兒かんむしの良藥
効能 ○ひかん○むしけ○ちゝあまし ○ひきつけ○ねあせ○ちばたれ ○かべつちをかむ○かほておし つりなどに大効あり

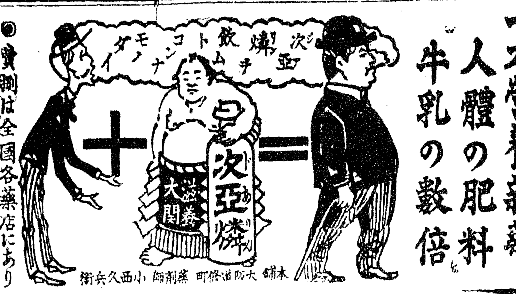


價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す

代理店
京城本町五丁目 木下大盛堂
同南大門通三丁目 新井藥房

長崎流
○しるこ
○茶碗むし
○むし壽し
(出前も御好に應じ可申候)
南山町二丁目(南山湯上ル)
松ぞの
(電話一一八五番)

【大營養新藥】
人體の肥料
牛乳の數倍



本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

◎賣捌は全國各藥店にあり

眼科
日曜及祭日は午後二時迄
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
(電話三十三番)
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

開店一週年に付
破額廉價大賣出し
九月廿八日より
本場秩父縞
縞類 五圓
絣類 五圓五十錢
甲斐絹 尺二十錢
均一
其他特製珍柄澤山取揃申候
京城明治町一丁目
秩父屋 關根出張店
(電話四三)

英國
ニユージーランド(火災海上)保險株式會社
創立 西曆紀元千八百五十九年(邦曆安政六年)
資本金 一千五百万圓也
準備積立金 四百四十五萬圓也
支拂保險額 七千五百三十二萬圓也
日本に於ける放資金 日本帝國五歩利付公債十萬圓也
日本及滿洲總支店 橫濱市山下町百六十七番
支店 東京、神戸、大阪
朝鮮代理店 京城水樂町二丁目十六番邸
東京 藤原商店京城支店
電話一八九番

●新松茸飯相始め申候
時節柄新松茸飯を始めました御客樣の御口に叶へます樣風味佳良にしつらいます故御光來の上御ためしの程希上候並に宴會は梅の家の特色として上品にして叮嚀なり尙如何程安直の御宴會にても引受け勉强可仕候出前の儀も多少に不拘御用仰付被下度候

會席御料理
京城大和町三丁目
梅の家
電話七五三番

世帯道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒、手ヨリ白米、和洋ローソク
上白シメ油、㊢醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨御問屋
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二百十番 電畧(ニカ)又ニ
振替貯金口座韓國七番

義齒術全般
龍山元町二丁目
飯田健太郎
電話

院長診察毎日午前 自七時至正午
龍山元町二丁目(電話一〇參番)
佐藤病院
○胃腸病診療○
院長診察毎日午後 自三時至五時
龍山郵便局北隣(電話四〇八番)
佐藤病院出張所

東京建物株式會社は派出所新設し左の營業開始す
東京建物株式會社は東京市日本橋區吳服町にあり
東京建物株式會社現在の資本金高は五百萬圓なり
東京建物株式會社派出所は京城旭町二丁目にあり
東京建物株式會社は土地建物を抵當に貸金をなす
東京建物株式會社は土地建物賣買及紹介をもなす
東京建物株式會社は月賦償却にて建物建築をなす



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十二番)

總督府御制服調進
弊店は鮮土に於ける洋服業の開祖として將又卒先者として斯道の獎勵に努め汲々營々爰に十七年の星霜を閱するに至り弊店の調製服に對して世既に定評あり就中御制服は弊店の最も得意とする所諸官衙を始め殊に韓皇陛下時代より今日の李王殿下御一族の御用は依然として特定せられ居り弊店の光榮と致す所に御座候豫て英國に注文致置候制服地等今回多數到着仕候に付誠意熱心に御調製可仕候に付何卒御用命の程奉希上候 敬白

朝鮮各殿下
諸官衙
御用
京城光化門通
淺田洋服店
大島專藏
電話長四一二

平壤大和町
淺田洋服店出張所
電話長四一三

家傳 快樂園
不思議の靈藥
梅毒專門藥
●痳瘡●便毒●骨痛●揚梅藥●婦人ののぼり、こしけ●小兒の乳越し等ひゐばい毒の諸病には其効能の著るしき事他に比類なく病の根を切絶して再び起る事なし我累代の家傳法の妙藥にして實に不思議の藥なり●諸君よ御服用ありてその効能を知り玉ふべし
如何なる重症も十日分以上服用する必要なし
定價 五日分金二圓五十錢 七日分金三圓也 十日分金四圓也
▲御服用の上効能無之場合は代金返戻可致候
調劑發賣元 廣島縣安藝郡中野村 後藤松太郎
●京城旭町二丁目やぐら壽司方にて販賣致候
京城發賣元 山川留[illegible]
電話[illegible]九番

官衙御用
營業料目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐ブシン 穀物食鹽 諸染料類

賣捌販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
[illegible]

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地 電話新橋三六九二

と 印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本(ハリモト)商店
京城本町六丁目
電話百拾番

法律事務所開設
今般左記の所に莊子辯護士出張事務所開設致し候に付き一般法律事務を懇篤に取扱へ仕候
辯護士
仁川仲町二丁目五番地
莊子斌事務所
主任 本內千代吉

義齒全般
京城明治町三丁目
吉崎文作
電話九四二

米國スタンダード製松印石油
下總國野田㊙印醬油
仁川日本醬油株式會社製㊥印醬油
下總國万上印味淋壜詰
尾張名古屋㊀印酢
汗浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豐後湯の花精製品(入浴用)
湯の花菓子(茶用)瓶入各種
特約店
雜貨部 京城本町六丁目 ㊇藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所
電話三〇八番 電畧(ク)
其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊昆布、蓙、青莚、味噌、鑵詰、千香、其他乾物類一式

自午前八時至午後九時
京城相生町南門湯橫(電話一二九四番)
京城梅毒病院
●花柳病專門 附、痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

明法學士
仁川仲町三ノ八(タウセンド筋向)(電話七〇二番)
北島靜法律事務所
京城[illegible]所西隣



代理店
京城旭町一丁目
丸正藥房
電話千四百番
振替口座二四〇番

本館 本町四丁目(贊化病院前)
特色 河合
夜間 寫眞館
撮影
電話一二六九

古家屋、賣買・新古材木並トタン板、雨戸、障子類一式
其他建築材料一切
古着、古道具、諸雜貨
京城本町七丁目京城座前
五十建築材料店
電話一千四百二十四番

薄口醬油
特約販賣
仁川京城 高雄支店

芙江公州間出帆廣告
芙江發 毎日後一時 京城方面ヨリ急行接續
公州發 毎日前七時 京城方面行急行接續
(荷客共御取扱可申候)
御用向ノ御方ハ(京城仁川鳥致院芙江公州)中條店へ御尋被下度候

瀛船出港廣告
月串、甕洞、海州行
瀛船 天草丸 安來丸 成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通(電話四二九)
柴田回漕店